



日本共産党杉並区議会議員

週刊

こんにちは こうへい 山田耕平 です

2022.5.26 No.445

このニュースへのご感想
ご意見をお寄せください!

杉並区善福寺2-2-11

TEL 090-9973-0941

ホームページ

<http://yamadakohei.jp>

右QRコードを
ご活用下さい



第2回定例会開会 区長任期最後の定例会で一般質問

住民合意無い道路整備 再開発は見直しを



西荻南再開発団体が動き出す

田中区长は他党派議員の一般質問への答弁で、区長選挙がある時に「区長が変わらなければ再開発が進む」と言われていることを「根も葉もないこと、大変迷惑している」と発言しました。

しかし、2018年に区長3期目の任期が始まってから4年の間に、西荻窪駅南口の再開発の動きが一気に加速したことは紛れもない事実であり、区長が進める都市計画道路補助132号線整備が引き金になっています。一般質問では、その問題を事実に基づいて質問しましたが、区長は一切答弁に立ちませんでした。

田中区长のもとで進む道路整備と一体の再開発

5月25日(水)日本共産党杉並区議団を代表して一般質問しました。今定例会は田中区长任期(3期)最後の定例会となります。

一般質問では、物価高騰の影響と対策、国民健康保険料の負担増問題、都市計画道路整備と再開発、住民生活に関わり23区でも低水準な施策、田中区长の政治資金パーティ問題を取り上げました。※質問詳細は区議団ホームページをご覧ください。

2019年2月、西荻窪駅南口まちづくり団体と杉並区の担当職員が協議し、再開発に関する報告を受けています。(右下資料)

情報公開請求で入手した資料

まちづくり団体の新規登録の対応について

平成31年2月7日(木) 14:30~15:15

団体: 〇〇氏(〇〇〇〇)、〇〇〇氏(〇〇)、〇〇〇氏(事務局)

区: 管理課庶務係 小松代主査、鳩島 拠点整備担当 白鳥係長、安藤

新たにまちづくり団体として登録するため、届出書類を待参のうえ来所。

登録要件の確認(管理課)

- 名称「西荻窪駅南口再開発協議会」(平成30年10月発足)について協議会の名称については以前にも相談があり、その際に、区が認定した「協議会」と誤解が生じてしまうため名称変更をお願いしている。
- 再度、説明をし、協議会のままでは団体登録は受けられない旨を伝える。
- 持ち帰り、検討をする。

・名称について

名簿の記載で、地権者の住所が活動区域ではない(居住する住所)のため、修正が必要。

→持ち帰り、修正をする。

団体の活動状況(拠点整備)

- 活動区域内の地権者はどのくらいか。→地権者は約60名(うち団体メンバーは15名)。
- ニュースを定期的に発行していく。(毎月定例会開催)
- 明確なものが出来ていないので反対意見もでていない(他の人が賛成なら賛成、積極的にやっていくという状態でもない)。
- 団体としては、法定の再開発を目指す。→小さい規模にすることもありうるが、大きい再開発を目指す。
- 西荻まちづくり懇談会もあることから、区には今後も相談させてもらいたい。
- 定期的な報告を入れていきたい。

コロナ禍に 一期区間を事業化

同団体は都市計画道路の整備と一体に南側のまちづくりを進めるとし「団体としては、法定の再開発を目指す」「大きい再開発を目指す」ことを明言。

同年12月には、駅南側道路計画用地と重なる部分に英領ヴァージン諸島私書箱957、タックスヘイブンを籍を置く法人が進出。この場所は不透明・不正取引の温床として証券取引等管理委員会も問題視しています。

2020年4月には、コロナ禍の真つ只中であるにも関わらず、補助132号線の第1期区間を事業化しました。

これらは、全て2018年の区長選挙の後に起こっていることです。6月の区長選挙で田中区长が4期目に当選すれば、次の4年間で2期区間の事業化を目指し、西荻窪駅南側再開発のルールが引かれることとなります。区長を代え、住民参画と協働による区政運営に転換しましょう。